

【講演】

ワンランク上の情報リテラシー教育へ！ — オリエンテーションと講習会を改善する7つのコツ —

14:00 - 16:30 (150 分) / 岡山県総合グラウンドクラブ 第二研修室

仁上幸治 (早稲田大学図書館)

<目次>

第1部「驚きを演出する超オリエンテーション」

(1) オリエンテーションのポイント

- I. はじめに
- II. 到達点と課題
- III. プレゼンテーションへの関心
表 1. 新入生オリエンテーションの典型例の比較対照
- IV. プレゼンテーションの重要性
- V. 企画の重要性
- VI. 構成・演出の9つのポイント
- VII. 構成・演出上のよくある誤解
- VIII. おわりに—専門性の訴求に向けて—

(2) プレゼンテーションのポイント

1. 映像の文法
2. 説明・説得の技法
3. 広報戦略と利用者教育プログラム

第2部「目からウロコの情報検索指導」

(1) 例題改善のための13の提案

(2) 例題の良し悪しの比較対照

- * 1. 参考文献一覧
- * 2. 参考サイト一覧
- * 3. 講師紹介

□ ■ □

第1部 驚きを演出する超オリエンテーション

■講演要旨

司書職は現在、専門性崩壊のデフレスパイラル状況にある。図書館オリエンテーションは、情報リテラシー教育を支援するための司書職の専門的な知識と技能やその教育的効果を直接間接に大学コミュニティ構成員に訴求する貴重な機会のひとつである。『図書館利用教育ガイドライン（大学図書館版）』（1993 原案発表、1998 年刊行）は、「自立的情報利用者の育成」という理念のもと、戦略的長期目標として「全学的な情報教育の統合化」を掲げ、当面の目標として「対象者の拡大と内容の高度化」を設定しその実現を呼びかけた。それは「従来行われてきた《オリエンテーション》レベルの限界をいかに突破するか」という大学図書館界の問題意識に対する課題設定であった。その後10年を経て、図書館オリエンテーションの対象者の拡大が一定レベルに到達したこと、情報検索やデータベースの講習会や授業に図書館員が参加する機会が増えたこと、などを背景にして、オリエンテーションに対する図書館員の関心が、「とにかく実施すること」から「どうしたらより効果的に実施できるか」という技術的な知識技能のほうへと移ってきた。

オリエンテーションを、テレビ番組や各種イベントと比較対照してみることによって、視聴者として目の肥えた新入生に対して、飽きない、楽しめる、そしてためになるようなプログラムを提供するには、「エデュテインメント」という教育と娯楽の融合の視点が必要不可欠であることがわかる。

オリエンテーションの企画段階では、1) 驚かす、2) 対話形式、3) 旬の話題、4) ワクワク感、の4つのコンセプトが重要である。これらを実現するためには構成・演出の段階で、1) 意外性のあるイントロ、2) 対話によるツカミ、3) 違いの印象づけに絞る、4) 個人尊重の気配り、5) 直感的に理解できる例題、6) グローバルネットワークの驚き、7) マナー指導は控えめに、8) 期待感を膨らませる予告編、9) ワクワク感で終わる、の9つのポイントを意識的に工夫することが必要になる。その結果、会場、準備、服装、イントロ、マイク、スクリーン、スライド、配付資料、説明、例題など、プレゼンテーション技法に付随する具体的な改善課題が明らかとなる。

司書職の専門性の研鑽と対外的訴求のためには、職場のカルチャーを変え、研究会・研修会を変え、司書課程を変える必要がある。プレゼンテーションの改善への取り組みが図書館員が自分自身を変える絶好の契機になることは間違いない。

本講演では、新入生オリエンテーションの事例をもとに、教育的効果を高めるための構成・演出について改善のヒントを紹介する。

●参考文献

仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法：印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.

表 1. オリエンテーションの良し悪し対照表

#	項目	悪い例	良い例
1	会場	広すぎ	適度
2	準備	ぎりぎり	余裕
3	服装	過度にフォーマル／ラフ	適度にカジュアル
4	イントロ	平凡・失望感	意外性・期待感
5	マイク	音量不足／過多	適度な音量
6	スクリーン	小さい・暗い	大きい・明るい
7	スライド	文字過多で読みにくい	適切な大きさと読みやすい
8	配付資料	雑多・過多・持ち帰り精読用	精選・少量・当日用
9	説明	講義・平板・退屈・眠気	対話・緩急・魅力的・興奮
10	例題	古い・わかりにくい	旬でわかりやすい
11	まとめ	時間切れ・尻すぼみ	ワクワク感・決意
11	アンケート	お願い・非協力的	粗品引き換え・進んで協力

■資料 1： 早稲田大学所沢図書館オリエンテーション・講習会の記録

2002 年度まで：必修科目「情報処理1」

人間科学部において 2002 年度までは学部新入生の必修科目「情報処理1」の中の1コマが図書館オリエンテーションの時間に当てられていた。6月第二週に14コマ。

しかし、2003 年度のスポーツ科学部の新設にともない、同科目内での実施は図書館側の負担の点で困難となったため、図書館オリエンテーションは廃止となった。

2003 年度・2004 年度：ビデオ「新入生のための WINE 解説」

その代わりに、ビデオ「新入生のための WINE 解説」(“RealPlayer”版 149KB:19 分)を制作して所沢図書館ホームページに掲載し、1年次必修の人科の「基礎演習」およびスポ科の「スポーツ教養演習」において、各教員から授業中に実際に上映するか、各自で視聴するよう案内をする形にした。

1-2. 問題点

- ・新入生オリエンテーションの代替策としてのビデオの効果についてはまだ評価が行われていない。(授業中の指導内容・時間などと図書館利用率との関連等)
- ・ビデオだけでは効果が薄い可能性が大きい。
- ・キャンパス全体の情報リテラシー教育の一環としての位置づけが曖昧。
- ・図書館員による具体的な利用案内・利用指導が行われていない。(参考)他大学の事例

1-3. 2005 年度企画案

(1) 人科「基礎演習」、スポ科「スポーツ教養演習」のひとコマ

1) 1年生必修科目である両学部の人科「基礎演習」、スポ科「スポーツ教養演習」の中の1コマを当てる。90 分全部ないし、授

業後半の 45 分か 30 分程度。

2)できるだけ大教室で回数を減らす(人科「基礎演習」:月水木金曜1限目、スポ科「スポーツ教養演習」:水曜1限目)

3)内容はかつての「情報処理1」のレベルの初歩部分、図書館と情報リテラシーの入門編とする。

4)名称は図書館オリエンテーション(1)とする。

(2)人科「基礎演習」、スポ科「スポーツ教養演習」における個別授業支援

1)人科「基礎演習」、スポ科「スポーツ教養演習」の各担当講師からの依頼により図書館から講師を派遣する。

2)内容は、研究室単位で個別に相談する。(参考)図書館講習会申込書

>> 参加者数等は利用教育実施状況を参照。

1-4. 2006 年度実績拡大

>> 所沢図書館ホームページ参照

■資料 2 : 広報論の復習

***『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開を目指してー』**私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編集発行／日本図書館協会発売／2002 年8月 31 日刊行／A5判 304 頁／定価 2381 円(税別)

■資料 3 : 出版物・講演会案内

1)『図書館利用教育ガイドライン(合冊版)』日本図書館協会図書館利用教育委員会編、日本図書館協会、2001.8

2)『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会図書館利用教育委員会編、日本図書館協会、2003.3. B5判 300 頁／定価 2500 円

・表紙写真付き紹介: <http://www.bkl.co.jp/> 他 委員会活動 <http://www.jla.or.jp/cue/>

3)『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開を目指してー』私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編集発行／日本図書館協会発売／2002 年8月 31 日刊行／A5判 304 頁／定価 2381 円(税別)

『図書館雑誌』2002 年6月号広告より:

サイン計画から広報紙編集まで図書館員必読、広報担当者必携のお役立ち虎の巻。

■ヒト・モノ・カネの制約条件の中で最小の手間で最大の効果を上げるための方法手段をわかりやすく整理。

■旧来の「単なるお知らせ」でしかなかった広報をサービス向上と組織活性化の戦略として捉え直す。

■組織内部の壁にぶつかった時に挫折しないための知恵を 10 年間の共同研究から集大成(企画広報研究分科会活動報告書 No.4)

■4段階レベルアップ法、20 大手段活用のポイント、困った時の対処術、共同研究活動報告、参考文献付。

・ハンドブック編集委員会: <http://homepage1.nifty.com/oyaoya/kikaku/>

・パスファインダーバンク: <http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/>

第2部 目からウロコの情報検索指導

* 例題改善のための13の提案＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

提案1：映像・画像を活用する

楽しい雰囲気

意外感と期待感

映像の中の本を使う

表紙の絵を見せる

検索サイトの画面を見せる

比的に見せる

ノイズという概念の理解

トランケーションの理解

提案2：視線のコントロール

これってどれ？

図書館員は慣れているボタンでも利用者にはわからない

提案8：浅い問題を深く味わう解説を

ノイズと漏れとの戦い

誤植もありうる

問題自体の問題点（司書課程向け）

提案3：解けない例題の活用

知識不足の自覚

自信喪失

学習意欲の喚起

提案9：身近な意外性のある問題に作り直す

マニアックな題材

少数派を重視

アニメ、漫画など

提案10：自分が好きなテーマで例題を作る。

趣味

体験

提案4：教科書の例題を作り直す

初心者目で見直してみる

引っかかるポイントを見つける

引っかからないような設問にするか

引っかかりを乗り越えられるようなヒントを付ける

提案11：オリエンテーションと講習会を変える

図書館の指導的サービスを理解させる

情報の探索・整理・表現の拡がり

司書の専門性を印象づける

提案5：電子情報源の便利さ訴求

紙と電子の並存

電子の優位性

上手な使い分け

提案12：ソースアプローチからプロセスアプローチに変える

情報源の羅列的介绍

目的別の手順重視

探索過程の拡がり

提案6：ポータルサイトを教えよう

野口悠紀雄オンライン

アリアドネ

実践女子大学図書館

提案13：プレゼンテーションを改善する

見せるから魅せるへ

説明から理解へ

図書館員への共感

提案7：使いにくさを逆手にとって使いやすい例を対

*** 表 1. 例題の良し悪しの比較対照**＝＝＝＝＝＝＝＝＝

#	項目	悪い例題	良い例題
1	間違った自信	放置する	打ち砕く
2	学習意欲	低下させる	向上させる
3	紙版の扱い	根拠なく優先	守備範囲を明確に
4	電子版の扱い	便利さが曖昧	圧倒的な便利さを実感
5	提示方法	文字ばかり	映像・画像
6	データベースの紹介	便利さより面倒くささ	プリント版では不可能な利便性
7	ヒットするかしないか	すぐ「ない」と結論する	「必ずあるはず」という信念
8	検索語と検索式	思いついたものだけ	あれこれ工夫する
9	システムの不備	弱点として説明	乗り越える迂回路を提示
10	有力サイト	暗記を強要	たどり着き方を教える
11	正解の提示	一例だけ	複数の可能性も
12	起点	検索エンジン一本槍	ポータルサイト
13	検索語の入力	愚直にフルにタイピング	限定力のある語でジャストミート
14	オンライン書店比較	特徴を文章で説明	特徴の出る検索例で
15	検索結果と次の検索	一話完結	連続ワザ
16	ヒットしなかった場合の説明	ヒットしない例題を探す	仮定で進める
17	フレーズ検索	一応の差がわかる程度	圧倒的な限定力を見せる
18	ショートカットキー	説明しない	検索の流れの中で便利さを見せる
19	メモ帳	説明しない	コピーで保存して文献リストを作る素材にする
20	日本語論文検索ツール	雑誌記事索引（書誌のみ）	CiNii（抄録・全文リンクつき）
21	NACSIS-Webcat	簡単にヒットするタイトル	よくあるのに難しい略誌名から
22	ジェンダー視点	無自覚ぶりを露呈	しかるべき人にチェックを頼む
23	品位	受け狙いが下品	適度に上品
24	理論的根拠	経験主義と思いつき	利用者教育の理論
25	オリエンテーション	旧態依然のイメージ	斬新なイメージ
26	講習会	効果不明	効果抜群
27	プレゼンテーション	配付資料主体	スライドショー主体
28	スライド	配付資料をそのまま貼り付け	読みやすさ優先

29	指示語	「これ」の連発（どれ？）	「この〇〇ボタン」と指示
30	文字色	モノクロ（または使いすぎ）	適度にカラフル
31	文字列	ベタ打ち	《 》などの記号を多用
32	図書館員の専門性	怪しい印象	プロの印象

* 1. 参考文献一覧

●ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン―図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.

●情報検索関係の教科書

- ・情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』日外アソシエーツ, 1997
- ・高銀裕樹『デジタル情報資源の検索 増訂版』京都大学図書館情報学研究会, 2007.4
- ・原田智子 他『情報検索演習』3訂、樹村房, 2006. (新・図書館学シリーズ, 6)
- ・緑川信之『情報検索演習』新訂、東京書籍, 2004.
- ・三輪眞木子『情報検索のスキル―未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003.9 (中公新書 1714)
- ・毛利和弘『文献調査法-調査・レポート・論文必携』第2版、日本図書館協会発売 2006.

●インターネット

- ・野口悠紀雄『インターネット超活用法 2001』講談社, 2001, ¥1400.
- ・アリアドネ編『思考のためのインターネット―厳選サイト800』, 筑摩書房, 1999 (ちくま新書) ¥660
- ・二木麻里, 中山元著『書くためのデジタル技法』筑摩書房, 2001.11
- ・津野海太郎, 二木麻里編『徹底活用「オンライン読書」の挑戦』品文社, 2000.8
- ・岡本真『これからホームページをつくる研究者のために―ウェブから学術情報を発信する実践ガイド (ACADEMIC RESOURCE GUIDE)』築地書館, 2006. ¥2,940.

●情報リテラシー教育

- ・慶應義塾大学日吉メディアセンター 編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会, 2002, ¥1,200 (本体)
- ・学習技術研究会編著『知へのステップ : 大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版, 2002.4 (CD-ROM 付)
- ・北尾謙治[他]『広げる知の世界―大学でのまなびのレッスン』ひつじ書房, 2005.5, ¥1,600
- ・伊藤民雄・実践女子大学図書館編『インターネットで文献探索 2007 年度版』日本図書館協会, 2007.

●論文作成

- ・中尾浩・伊藤直哉『Windows95 版人文系論文作法』夏目書房, 1998, ¥2857.
- ・山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』平凡社, 2001.9
- ・澁谷恵宜『卒論応援団 : はじめての「卒業論文」ラクラク基本マニュアル』クラブハウス, 2000.7
- ・戸田山和久『論文の教室―レポートから卒論まで』NHK出版, 2002.11, (NHK ブックス 954) ¥1,120
- ・小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社, 2002.4 (講談社現代新書, 1603)
- ・野口悠紀雄『「超」文章法―伝えたいことをどう書くか』中央公論社, 2002.10 (中公新書, 1662)

●プレゼンテーション1

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門―プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーボックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9 (中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法―計画の立て方からパソコン利用法まで』講談社, 1995 (ブルーボックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術―意図を正しく伝えるための16のルール』講談社, 1999.3 (ブルーボックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術―最強のプレゼンテーション15のルール』講談社, 2002.10 (ブルーボックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS ブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーボックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10―話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

●プレゼンテーション2

1. Dynamic Presentations Skills and strategies for Michael・Hood / 桐原書店 2007/02 出版
ISBN:9784342549700 ¥1,995(税込)
2. 私のPD臨床気鋭のケースプレゼンテーション(Dental diamond増刊号) 渡辺宣孝 / デンタルダイヤモンド社
2007/07 出版 159p ISBN:9784885101236 ¥4,620(税込)
3. 説得できますか? あなたの提案文書&プレゼンテーション(仕事のツボシリーズ) 高島慶子 / ローカス 2007/07 出版
167p 21cm ISBN:9784898148136 ¥1,575(税込)
4. 色鉛筆パースsuperトーク住空間パースの色鉛筆プレゼンテーション 長谷川矩祥 / グラフィック社 2007/06 出版 15
9p 26cm ISBN:9784766117967 ¥3,150(税込)
5. プレゼンテーションの教科書 脇山真治/についでざいん編集部 / 日経BP社(日経BP出版センター) 2007/06 出版
204p 21cm ISBN:9784822264512 ¥2,730(税込)
6. 30時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint 2007Windows Vista対応 実教出版株式会社 / 実教出版
2007/05 出版 191p 26cm ISBN:9784407311938 ¥979(税込)
7. Studyaid D. B. Polestar English course 2(<CD-ROM>) 指導用プレゼンテーション+プリント作成デー
タベース/数研出版 2007/03 出版 ISBN:9784410582318 ¥18,000(税込)
8. Windows Presentation Foundationプログラミング入門 赤坂玲音 / 秀和システム 2007/05 出版 425p 24cm
ISBN:9784798016375 ¥3,360(税込)
9. 徹底解説2次試験インテリアコーディネーター資格試験問題「論文」「プレゼンテーション」平成19年版 産業能率大学
出版部 / 産業能率大学出版部 2007/04 出版 260p 26cm ISBN:9784382055698 ¥3,360(税込)
10. 速効ビジネス英語50の超シンプル表現だけで乗り切れる! プレゼンテーション編 スティーブ・ジュング / アルク
2007/04 出版 129p 21cm ISBN:9784757411869 ¥1,890(税込)
11. パーフェクト・プレゼンテーション(新版) 八幡紘史 / 生産性出版 2007/03 出版 431p 22cm
ISBN:9784820118404 ¥4,620(税込)

●PowerPoint

1. PowerPointトレーニングブック2007対応 朝倉朱美 / ソーテック社 2007/07 出版 247p 19cmX19cm
ISBN:9784881665879 ¥1,764(税込)
2. 超図解PowerPoint 2007Windows Vista対応 総合編 エクスメディア / エクスメディア 2007/06 出版 311p
24cm ISBN:9784872837698 ¥1,554(税込)
3. 例題30+演習問題70でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint標Windows Vista/Office 2007 定平誠
/ 技術評論社 2007/08 出版 309p 26cm ISBN:9784774131511 ¥2,079(税込)
4. 今さら人に聞けないPowerPoint 2007の常識(I/O books) 初心者がつまずく盲点をインストラクターが伝授!
松本美保 / 工学社 2007/06 出版 239p 22cm ISBN:9784777512898 ¥1,680(税込)
5. PowerPoint 2007基本操作(かんたん図解neo) きたみあきこ/国本温子 / 技術評論社 2007/07 出版 327p
24cm ISBN:9784774131320 ¥2,289(税込)
6. PowerPoint 2007逆引き大全555の極意Windows Vista完全対応Windows松谷澤 / 秀和システム 2007/07
出版 631p 21cm ISBN:9784798016870 ¥1,995(税込)
7. 超図解mini PowerPoint 2007の基本Windows Vista対応 エクスメディア / エクスメディア 2007/06 出版 169
p 19cm ISBN:9784872837582 ¥979(税込)
8. PowerPointでマスターする「見える」企画書&プレゼンの極意2007対応 竹島慎一郎 / アスキー 2007/06 出版 2
57p 24cm ISBN:9784756149312 ¥1,890(税込)
9. 超図解mini PowerPoint 2007小技・裏技・便利技(超図解miniシリーズ) Windows Vista対応 エクスメディア
/ エクスメディア 2007/05 出版 161p 19cm ISBN:9784872837599 ¥979(税込)

●情報探索論

- ・岡澤和世「情報行動研究のコンテキスト」『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.16, p27-52 (2002)
- ・岡澤和世「情報ニーズの評価の必要性和問題点:D.Nicholas の論文を中心に」『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.12,p43-65(1998)
- ・北原俊一, 安達一寿「自習型Web教材および簡易学習支援システムの開発」, 『社会情報論叢(十文字学園女子大学研究紀要)』, Vol.7 2003, p1-10.
- ・河野浩之 [ほか]著『情報検索とエージェント:インターネットの知的情報技術』東京電機大学出版局, 2002.3
- ・中村幸雄『情報検索理論の基礎—批判と再検討』改訂増補版, 共立出版, 1998
- ・福永智子「講演 図書館利用教育研究における学習心理学的観点: クールソを中心に」『館灯』41, 2003, p.1-6.

- ・渡辺智山「情報探索過程を踏まえた検索システムの開発へ向けて―レファレンス・ブックを利用した探索過程の調査―」『情報の科学と技術』52(3), 107-115 (2002)
- ・D.A. ノーマン, 野島久雄訳『誰のためのデザイン? ―認知科学者のデザイン原論―』新曜社, 3300 円
- ・R.S. ワーマン『それは「情報」ではない。』MdN, 2001.
- ・R.S. ワーマン『理解の秘密―マジカル・インストラクション』NTT出版, 1993.
- ・R.S. ワーマン『情報選択の時代』日本実業出版社, 1990.／『東京アクセス』伊藤忠ファッションシステム, 1984.

●Google

- ・アスキー書籍編集部編『グーグル・エンターテインメント：遊んで使える Google サービス完全活用ガイド』アスキー, 2007.4
- ・阿部秀之『Google SketchUp パーフェクト. 入門編』エクスマレッジ, 2007.5
- ・清水隆夫 [ほか]『今すぐ使える Google サービス完全活用ガイド』技術評論社, 2007.1
- ・ジャン・ノエル・ジャンヌネー 著『Google との闘い：文化の多様性を守るために』岩波書店, 2007.11
- ・ラエル・ドーンフェスト, ボール・ボシュ, タラ・カリシェイン『Google hacks：プロが使うテクニック&ツール 100 選』オライリー・ジャパン, 2007.4
- ・水野貴明『目的別 Google 活用テクニック』翔泳社, 2007.1

●調べ方

- ・井上真琴『図書館に訊け!』筑摩書店, 2004. (ちくま新書) ¥777
- ・大串夏身『チャート式情報アクセスガイド』青弓社, 2006. ¥1600.-
- ・田中共子『図書館へ行こう』岩波書店, 2003. (岩波ジュニア新書) ¥777
- ・時実象一『理系のためのインターネット検索術: ホンモノ情報を素早くみつける』講談社, 2005.2(ブルーバックス) ¥840
- ・時実象一, 小野寺夏生, 都築泉『情報検索の知識と技術―情報検索応用能力試験 2 級対応テキスト』情報科学技術協会. 2007.5, ¥2500.
- ・藤田節子『キーワード検索がわかる』筑摩書房 2007.10(ちくま新書) ¥756.

●パスファインダー

- ・愛知淑徳大学図書館インターネット情報資源担当編『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践：図書館員のための主題検索ツール作成ガイド』愛知淑徳大学図書館, 発売: 紀伊国屋書店, 2005.2
- ・石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会『パスファインダーを作ろう: 情報を探す道しるべ』全国学校図書館協議会, 2005 (学校図書館入門シリーズ 12) 840 円
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性」『情報の科学と技術』52(10), 526-537 (2002)
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダー―次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術」『館灯』42, 2003, p35-46.
- ・河上純子, 仲尾正司, 仁上幸治 他「パスファインダーバンクの実用化に向けて―Web 版共同利用ナビゲーションシステム開発計画案」(私立大学図書館協会東地区部会 館長会・研究講演会, 研究分科会報告大会記録 2001 年度『私立大学図書館協会会報』(通号 118) [2002.11])
- ・仲尾正司, 中村亜日香, 山田かおり, 他「パスファインダーバンク実用化とその経緯―Web 版共同利用ツールシステムを立ち上げて」『私立大学図書館協会会報』122, 2004.8, p147-151.
- ・仁上幸治「電子パスファインダーをどう作るか―情報探索支援ツールの企画から公開まで」『短期大学図書館研究』25, 2005.3, p.59-70.
- ・村田輝 他「教育情報案内パスファインダーによるレファレンスサービスの Web への展開―東京学芸大学附属図書館における教育情報ポータルサイト“E-TOPIA”」(国際学術コミュニケーション特集)『大学図書館研究』(67) [2003.3] p.37-49.
- ・伊藤白, 小澤弘太「国内における Web 上パスファインダーの現況調査」『情報の科学と技術』58(7), p. 361-366 (2008)

●講習会

- ・梅原由紀子「都立中央図書館の利用教育サービス―OPAC 検索講習会と図書館活用講座を実施して」(特集 図書館のホームページ) みんなの図書館. (通号 299) [2002.3] 56~65
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館 ―ニューヨークからの報告―』岩波書店, 2003. (新赤版 837)
- ・米澤 誠 ; 阪脇 孝子 ; 高橋 菜穂子「情報探索マニュアルの作成と職員向け講習会の実施: 東北大学附属図書館での事例報告」大学図書館研究. (69) [2003.12] 34~41

●指導法

- ・岡本浩一『上達の法則―効率のよい努力を科学する』PHP 研究所, 2002.5 (PHP 新書) ¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには―駄目な犬の困った飼主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップ―新しい学びと創造の場―』岩波書店, 2003.04 (岩波新書)
- ・畑村洋太郎『失敗学 事件簿―あの失敗から何を学ぶか』小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果 10 倍の＜教える＞技術: 授業から企業研修まで』PHP 研究所, 2006 (PHP 新書)

●『情報の達人』の歴史

- ・仁上幸治『「図書館の達人」から「情報の達人」へ―利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成』『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像―『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』

1992.11, pp.798-799.

- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-556.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・『情報の達人』ホームページ: <http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

* 2. 参考サイト一覧

第1部「驚きを演出する超オリエンテーション」

【1】広告

- ・京都広告塾 編『巧告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>
- ・広告コピーってこう書くん! 読本 谷山 雅計
- ・最新約コピーバイブル 土屋耕一/仲畑貴志/秋山晶/
- ・デンツウデザインタンク 編著『新アートディレクター入門』；後藤徹 監修 東京：電通, 2007.3
- ・姫路市立美術館, 凸版印刷株式会社印刷博物館 編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界：印刷技術と広告表現の精華』東京：国書刊行会, 2007.7
- ・眞木準 著『胸からジャック。：心にささる一行メッセージのつくりかた。』東京：大和書房, 2007.7
- ・オブスキュアインク 著『レイアウトデザインのルール：目を引くページにはワケがある。』東京：ワークスコーポレーション, 2008.2
- ・堀内敬一 著『売れる! チラシのデザインルール』東京：グラフィック社, 2006.6

【2】デザイン

服部デザイン研究所:「THE Know-How」レイアウト能力

http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html

増田デザイン事務所 Masuda Design Office

<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>

グラフィックデザイン

<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>

株式会社 イメージマジック

<http://www.cnet-ta.ne.jp/image/>

MdN

<http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/>

<http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>

グラフィックデザイン

<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

【3】サインの失敗例と改善

安曇野市図書館ロゴマーク

<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/logomark/index.html>

書架案内サインを色・文字でわかりやすくする試み(英国)

英国の図書館・情報専門家協会(CILIP)が刊行している Library + Information Update 誌の10月号で、デューイ十進分類法(DDC)を用いた書架分類: <http://current.ndl.go.jp/node/5065>

平成19年度第1回富士宮市立図書館協議会 会議録(概要)

<http://library.city.fujinomiya.shizuoka.jp/pdf/19-1kyougikai.pdf>

南郷町立図書館(その他)

www.mnet.ne.jp/~dice/observe/nangot/others.htm

八王子市生涯学習センター図書館

<http://itasan.mydns.jp/wiki.cgi?page=20040915&action=PDF>

シアトル中央図書館、新しいサインを準備中

<http://current.ndl.go.jp/node/4561>

http://seattlepi.nwsource.com/local/283819_library05.html

<http://www.libraryjournal.com/article/CA6368887.html>

<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/cae/item.php?itemid=213>

市川市中央図書館 広報委員会

図書館探検ツアー 中央図書館・館内サイン

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/tosyo/sisetu/tour2.htm>

メディアパーク アートの世界

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/tosyo/tosmain.htm>

ハーバード日記：司書が見たアメリカ

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/wordpress/index.php?p=57>

2008年2月14日(木曜日)【30. 探しやすい書庫を目指して？ Widener Library 書庫のサイン・フロアマップ】

telescoweb event みんなでつくる建築・都市・デザイン情報

<http://event.telescoweb.com/node/8166>

『近代建築』4月号は図書館特集。

日, 05/25/2008 - 22:15 ? くじつつや

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/images/navi/105/14.pdf>

企画広報研究分科会 第6期報告書

～「失敗しちゃった図書館」の処方箋～ 図書館のサイン改善計画

<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/sin6kki/6kki/6kki.html>

国際こども図書館イベントのピクトグラム例

<http://pic-sign.org/2007/10/post-2.html>

<http://www.kodomo.go.jp/event/exb/bnum/tenji2005-02.html>

展示会場: <http://www.mainichi.co.jp/universalon/report/2005/0706.html>

近江哲史

わがN市に関わる図書館サイン計画

<http://books.livedoor.com/item4816919473.html>

埼玉県県民生活部文化振興課

見やすく分かりやすい案内表示(サイン)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A12/BE00/universal/guide/sign/index.htm>

【4】アニメの中の図書館

隠の王

* テレビアニメ公式サイト

<http://www.nabari.tv/>

* テレビ東京・あにてれ 隠の王

<http://www.tv-tokyo.co.jp/anime/nabari/>

【5】広告アーカイブ

・新聞広告データアーカイブ: <http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>

・動画 NOW!! CM 企業 一覧: <http://www.doga-now.com/company/>

・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>

・PRIR: <http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>

・百式 POP*POP 広告・マーケティング カテゴリー: <http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

【6】さらにワンランク上を目指すための学校

編集の学校／文章の学校

<http://www.editorschool.jp/>

～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題

<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>

宣伝会議

<http://www.sendenkaigi.com/>

宣伝会議の教育講座

<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>

広告批評

<http://www.kokokuhihyo.com/>

広告学校

<http://www.kokokuhihyo.com/school/>

京都広告塾

<http://www1.newweb.ne.jp/wa/academy/>

美学校

<http://www.bigakko.jp/>

【7】注目の研究所

デジタルメディア研究所

<http://www.demeken.net/weblog/>

橘川幸夫

http://www.demeken.net/weblog/2005/09/post_10.html

第2部「目からウロコの情報検索指導」

【1】情報探索 3 大ポータルサイト

1) 野口悠紀雄オンライン: <http://www.noguchi.co.jp/>

2) アリアドネ: <http://ariadne.ne.jp/>

3) 実践女子大学図書館リンク集: <http://www.jissen.ac.jp/library/>

【2】Google 関連サイト

1) 実験室: Google のプロトタイプ: <http://labs.google.com/>

2) soople: Google 専用コマンド不要の検索フォーム: <http://www.soople.com/>

換算電卓機能: http://www.soople.com/soople_intcalchome.php

3) Google Hacks: Google メニュー検索: <http://dicwizard.jp/jamming/search.php>

4) GAPS: Google API Proximity Search: 近接検索
<http://www.staggenation.com/cgi-bin/gaps.cgi>

5) Google 関連メーリングリスト

・ Google Friends: <http://www.google.com/contact/newsletter.html>

・ googlefun: <http://www.freeml.com/ctrl/html/JoinForm/googlefun@freeml.com>

【3】検索サイトの最新情報

1) SEM リサーチ: 検索エンジンの最新情報ポータルサイト
<http://www.sem-research.jp/sem/>

2) Search Engine Showdown: 検索エンジンの最新ニュースと比較データ
<http://searchengineshowdown.com>

3) 検索エンジンの検索: 世界中の検索エンジンを探す検索エンジン
<http://www.searchenginecolossus.com/>

4) shikencho.com 検索の鉄人 関裕司氏の「検索テクニック」
<http://www.shikencho.com/iron/irontext.php>

【4】Google 以外の主要な検索サイト

1) AlltheWeb: <http://www.alltheweb.com/>
ノルウェーの Fast 社開発

2) AltaVista: <http://www.altavista.com/>

1995 年 12 月登場のロボット型検索エンジンの老舗。1999 年から画像検索の老舗。

3) AAA!Cafe: <http://aaacafe.ne.jp>
部分文字列検索が可能な「N グラム」方式

【5】パスファインダー

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会パスファインダーバンク：
<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/>
- ・E-TOPIA(東京学芸大学附属図書館)教育系電子情報ナビゲーションシステム：
http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index_p.html
- ・愛知淑徳大学図書館パスファインダー：
http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource_j/pf_j.html
- ・Dublin Core Metadata Initiative (DCMI)：<http://dublincore.org/>
- ・統計データポータルサイト <http://portal.stat.go.jp/>
- ・情報科学技術協会：<http://www.infosta.or.jp/>
- ・電子政府の総合窓口：<http://www.e-gov.go.jp/>
- ・茨城県立図書館「茨城県の企業情報」
<http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/chousa/ibaraki.htm#02>
- ・埼玉県立図書館「埼玉県内の企業に関する資料」
https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/saitama/other/kaisya.html
- ・広島県立図書館「広島県内の企業」
<http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/hplib/businessshirabekata/2kigyou/kigyoujyouhou.htm#kennnai>
- ・愛媛県立図書館「企業情報を探すには・・・(愛媛県内)」
<http://www.pref.ehime.jp/160kyouiku/190tosyokan/00000841020725/business/guide/ehimekigyo.htm>
- ・宮崎県立図書館「調べる 宮崎県内企業情報」
http://www3.lib.pref.miyazaki.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&WIT_oid=icityv2::Contents::1812
- ・鳥取県立図書館「企業情報を入手するには」
http://www.library.pref.tottori.jp/business/m_kigyoo_2007.html
- ・島根県立図書館「企業情報を調べるための資料」
<http://www.pref.shimane.lg.jp/toshokan/reference/business/kigyoo.html>

【6】教材サイト

- ・TOSS インターネットランド：<http://www.tos-land.net/index2.php>
- ・世界の指導案：<http://jcultra.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/LPIW/>
- ・教育情報ナショナルセンター：<http://www.nicer.go.jp/>
- ・EDUREF：<http://www.eduref.org/>
- ・Library Explorer：<http://explorer.lib.uiowa.edu/>
- ・Internet Public Library：<http://www.ipl.org/>
University of Michigan School of Information. >> Pathfinders
- ・WARP (Web Archiving Project)：NDL インターネット資源選択的蓄積実験事業：<http://warp.ndl.go.jp/>

【7】講習会教材公開の先進事例

- ・愛知淑徳大学図書館：<http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/>
- ・京都大学図書館<講習会><全学共通科目「情報探索入門」>：
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/homejm.html>
- ・九州大学図書館<情報リテラシー学習支援>：<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html>
- ・東京大学図書館<ネットでアカデミック on Web>：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>
- ・東京工業大学図書館<講習会案内>：<http://www.libra.titech.ac.jp/>
- ・東京学芸大学図書館<講習会情報>：<http://library.u-gakugei.ac.jp/>
- ・京都精華大学情報館<マルチメディア講演会>：<http://www.kyoto-seika.ac.jp/johokan/>
- ・東北大学図書館<情報探索の基礎知識>：<http://www.library.tohoku.ac.jp/>
- ・日本女子大学図書館<利用案内>[eラーニング]：<http://www.lib.jwu.ac.jp/>
- ・明治大学図書館<図書館活用法>：<http://www.lib.meiji.ac.jp/>

【8】教育用データベース提供

- ・データベース振興センター『情報の検索と活用』第2版, 2005. 3.：<http://www.dpc.or.jp/>
授業・講習会用ソフトの複数貸与等のサービスあり。

【9】画像ネタの宝庫

・ American Library Association : <http://www.ala.org/>

【10】使えるフリーソフト

- ・ Google バック StarSuite:ワープロ、スプレッドシート、プレゼンテーション、その他:<http://www.google.com/>
- ・ OpenOffice : プレゼンテーションソフト「Impress」を含む統合オフィスソフト Sun Microsystems Inc. : <http://www.openoffice.org/>
- ・ PrimoPDF 日本語版:PDF 形式変換ソフト : <http://www.xlsoft.com/jp/products/primopdf/index.html>
- ・ データ便:ファイル無料転送サービス : <http://www.datadeliver.net/>
- ・ アンケート君:アンケート集計ソフト : <http://www.vector.co.jp/soft/win95/business/se159548.html>
- ・ 富士通アクセシビリティ・アシスタンス:ウェブ診断ソフト : <http://jp.fujitsu.com/about/design/ud/assistance/>

【11】プレゼンテーションソフトを使い方を学ぶ（製造者ホームページ上のオンライン説明）

MicrosoftOffice Online

<http://office.microsoft.com/ja-jp/FX100647101041.aspx>

2007 Office system の初級トレーニング:PowerPoint 2007 を活用する

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC100687671041>

Office 2003 の初級トレーニング:PowerPoint の各機能の使い方

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC010413011041>

Office 2003 の中級トレーニング:PowerPoint: 洗練されたフローチャートの作成

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC010198841041>

Office 2003 の上級トレーニング:PowerPoint: マスタを使用して効率的にデザインする

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC011536491041>

【12】プレゼンテーションソフトを使い方を学ぶ（一般サイト）

Presentation.jp (プレゼンテーション総合サイト)

<http://www.presentation.jp/index.html>

資料作成

<http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap.ppt.html>

以上■

* 3. 講師紹介（最近の活動から）

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 早稲田大学図書館司書／東京家政大学・桜美林大学・亜細亜大学司書 講習非常勤講師

◎ホームページ: <http://www.dcms.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/> ◎電子メール: nikamikoji@yahoo.co.jp

◎図書館サービス計画研究所(略称「トサケン」)代表: <http://tosaken.blogspot.com/> ★ML 会員募集中!

◎論文・記事（単著）

- ・「コンビニに負けない生涯学習支援サービスを！ー市民の情報リテラシーと社会教育ー」『月刊社会教育』2000.10, pp.22-27.
- ・「図書館マーケティングとプランニング・プロセス論ー経営革新をめざす『実行可能な方法』の開発と導入ー」『専門図書館』no.192, 2001.3, pp.8-18.
- ・「軽いノリと少しの勇気ー利用者満足度調査は自信と希望の証ー」『図書館雑誌』2002.11, pp.872-875.
- ・「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52. (同誌ホームページ掲載)

- ・「司書課程の社会的評価の向上を目指す切り札ー情報検索演習における「受講生による授業評価」の集計結果報告ー」『法政大学教職資格課程年報』(法政大学キャリアデザイン学部紀要別冊)vol.1, 2003 年度, 2004.3.30, pp.66-76.
- ・「これは危機ではない?ー困った利用者よりずっと困った問題群ー」『図書館雑誌』98(11)[2004.11], pp.838-841.
- ・「総本山の進まない構造改革ー専門職崩壊のデフレスパイラルー」『大学の図書館』24(2), 2005.2. (特集大学図書館と日本図書館協会) pp.28-31.
- ・「オリエンはエンタメだ!ー素敵な印象を伝えるプレゼンテーションをー」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・「大学図書館員のためのオリエンテーション技法ー印象づけを重視した構成・演出の改善の試みー」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集: 情報リテラシー・サービス) pp.15-24.
- ・「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略ー司書職の専門性をどう訴求するかー」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, (特集: 図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?), pp.310-317.
- ・「電子パスファインダーをどう作るかー情報探索支援ツールの企画から公開までー」『短期大学図書館研究』25, 2006.3, pp.59-70.
- ・「図書館利用者プロフィールの再検討ー情報探索支援システム設計のための概念モデルー」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』日本図書館情報学会, 2007.3.31 (大阪市立大学梅田サテライト), pp.23-26.
- ・「『図書館の達人』から『情報の達人』へー利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・「デジタルリソースのフル活用へ向けてー講習会の刷新とオンデマンド教材の開発ー」『館灯』46, 2008.3. (私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会講演記録(2007.12.04, 名古屋ガーデンパレス)[刊行予定])

◎単行書(共著)

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開を目指してー』日本図書館協会発売, 2002.9
- ・戸田光昭[他]共著『改訂専門資料論』樹村房, 2002.10 (新図書館学シリーズ第 8 巻)
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』日本図書館協会, 2005.6 (菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, 8) [シリーズ第 2 期 8, 2008.1.31]

◎教材ツール開発(企画・監修)

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会: 共同制作ポスター・葉・掲示用紙・ブックカバー, 1984-
- ・日本図書館協会: 「コニーちゃん」ポスター・葉・掲示用紙, 1998-99.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会: 「りてらしい」グッズ(T シャツ, トレーナ, キャップ, バッグ, エプロン, ブックカバー) 2002-
- ・ライブラリービデオシリーズ『図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1992.10, 1993.7.
- ・ライブラリービデオシリーズ『新図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1998.3, 2002.11.
- ・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』DVD 版全3巻, 紀伊国屋書店, 2007.2.28. (ビデオ・スライド・テキストのパッケージ)

◎最近の講演・発表等

2004

- ・日本図書館協会フライデーナイトセミナー第1回「図書館員のための指導サービス実践講座【パート 2】ープレゼンテーションの実演と討論ー」2004.2.20 日本図書館協会
- ・鶴見大学 T.U.L.A (Tsurumi University Librarians Association) 研修会 講演「図書館員のための利用指導サービスのポイントープレゼンテーションの実演と討論ー」2004.7.10. 鶴見大学図書館AVホール
- ・東北地区図書館協議会合同研修会「大学図書館における利用者教育と利用促進」基調講演「利用指導サービスと広報戦略ー専門性を訴求する取り組みのポイントー」2004.7.30 岩手大学情報メディアセンター図書館
- ・私立短期大学図書館協議会全国研修会: 講義と演習「指導サービスの組織化と指導プログラム・教材の作成」2004.8.26-27, 北海道武蔵女子短期大学
- ・群馬県大学図書館協議会 大学図書館研究会: 講演「パスファインダー超簡単作成法ー日常業務の中で作るための7つのステップー」2004.9.8, 放送大学群馬学習センター
- ・埼玉高校図書館研究会司書部会研究集会: 講演「情報メディアの活用をどう支援するかー学校図書館司書による指導サービスのポイントー」2004.11.24, さいたま文学館(桶川市)

2005

- ・2005.1.20/1.28: NII 学術情報リテラシー教育担当者研修: 講演「学術情報リテラシー教育における広報戦略」大阪大学/国立情報学研究所
- ・2005.5.27: 日本図書館協会フライデーナイトセミナー第 5 回: 講演「情報検索指導における良い例題・悪い例題ー素材を集め問題を作り要点を説明する方法ー」日本図書館協会
- ・2005.10.10: はんのう学校図書館まつり特別講義「図書館で情報の世界への窓を開けるーポスターからパスファインダーまでー」駿河台大学
- ・2005.11.1/11.17: 学術情報リテラシー教育担当者研修 「学術情報リテラシー教育における広報戦略」国立情報学研究所/大阪大学
- ・2005.11.15: 医学図書館研究会・継続教育コース「新しいオリエンテーション技法ー利用者をひきつける構成と演出」東京歯科大学
- ・2005.11.17: 近畿地区医図協・薬図協・病図協共催シンポジウム「利用者教育におけるプレゼンテーションの実際」@大阪大学

- ・2005.12.7: 文部科学省東海北陸地区図書館地区別研修「情報活用支援サービスの最新技法」福井県立図書館

2006

- ・2006.03.18: 日本図書館協会図書館利用教育委員会図書館利用教育実践セミナー「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」キャンパスプラザ京都
- ・2006.10.14: 紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館広報革命－第一印象はオリエンテーションで決まる－」紀伊國屋書店本社会議室
- ・2006.11.16: 兵庫県大学図書館協議会「図書館広報を再設計する－専門職として生き残るための5つの特効薬－」兵庫県立大学
- ・2006.11.22: 図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)－専門分野別データベースの特徴を紹介する方法－」(日本図書館協会主催)パシフィコ横浜

2007

- ・2007.03.31-[発表] 日本図書館情報学会春季研究集会「図書館利用者プロフィールの再検討－情報探索支援システム設計のための概念モデル－」大阪市立大学梅田サテライト
- ・2007.06.01-[講演] 専門図書館協議会全国研究集会「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル－専門性を訴求する5つのポイント－」科学未来館
- ・2007.07.10-[講習会] 私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会図書館広報実践講座パート 1「パスファインダーをつくる!」国立情報学研究所
- ・2007.08.24-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会研究会「情報リテラシー教材が図書館を変える－『情報の達人』が切り拓いたもの－」熊本学園大学
- ・2007.09.21-[講演] 岐阜県図書館・岐阜大学図書館講習会「パスファインダーを作る(入門編)」岐阜県図書館
- ・2007.10.18-[講演] 専門図書館協議会関西地区協議会イブニングセミナー「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル－専門性を訴求する5つのポイント－」大阪商工会議所
- ・2007.11.08-[講演] 図書館総合展フォーラム講演会「図書館グッズが利用者と館員を変える!－イメージ戦略の先進事例－」(埼玉福祉会主催), パシフィコ横浜: 10:30～12:00 第3会場
- ・2007.11.08-[講演] 図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(応用編)－データベースの特徴をどう紹介するか－」(日本図書館協会主催), パシフィコ横浜: 15:30～17:00 第5会場
- ・2007.11.21-[講演] 大学図書館近畿イニシアティブ中級研修「大学図書館における広報戦略と情報発信－ホームページ、広報誌、利用案内・・・あなたの図書館は大丈夫ですか?－」大阪市立大学学術情報総合センター
- ・2007.12.04-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会「デジタルリソースのフル活用へ向けて－講習会の刷新とオンデマンド教材の開発－」名古屋ガーデンパレス

2008

- ・2008.02.06-[講演] 千葉県立中央図書館平成 19 年度レファレンス研修会(レファレンスサービス専門研修)「パスファインダー超簡単講座－新しい案内ツールをどう作るか－」千葉県総合教育センター
- ・2008.03.01-[講演] 三島市立図書館平成 19 年度図書館講座「目からウロコの《超簡単》情報活用講座－人に伝える・人と繋がる・人と学ぶ－」三島市立図書館
- ・2008.03.16-[講演] 日本図書館協会 図書館利用教育実践セミナー(第 11 回)「利用者はなぜ論文検索ができないのか－躓かせないための4つの指導ポイント－」キャンパスプラザ京都
- ・2008.5-7[講義と演習]TRC ライブラリー・アカデミー(2008 年度:隔週火曜日開講、全 6 回) TRC
- ・2008.08.19-[講演]三重県司書・司書教諭研修講座「魅せる教育力養成講座－情報専門職に必須のプレゼン技を磨く－」三重県立美術館/三重県総合教育センター
- ・2008.08.20-[講演]長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会研修会「少人数館だからできる指導サービス－創意工夫で効果を上げる7つのコツ－」清泉女学院大学(長野県長野市)
- ・2008.09.04-[講演]私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会図書館実務担当者研修会「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編 1)－レイアウト改善の5つのポイント－」レイクサイド入鹿(愛知県犬山市)
- ・2008.09.05-[講演]同 全体講義 2「なぜ研修の成果が出ないのか－現場で活かすための7つの秘訣－」
- ・2008.09.20-学校図書館問題研究会・岡山支部例会「作ることで学べるメディアの便利さと楽しさ－目からウロコの「超」実践的演習授業－」岡山市民会館会議室
- ・2008.09.21-岡山県大学図書館員研修会「ワンランク上の情報リテラシー教育へ!－オリエンテーションと講習会を改善する7つのコツ－」岡山県総合グラウンドクラブ 第二研修室

* 講演予定 (一部未定)

- ・2008.10.24-大阪府図書館司書セミナー「パスファインダー超簡単講座－新しい案内ツールをどう作るか－」(仮題)大阪府中央図書館
- ・2008.10.30-地方議会図書室等職員セミナー「あなたの図書館はなぜ魅力的でないのか－利用促進と存在感訴求のための広報戦略－」(仮題)都道府県会館
- ・2006.11.01-紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館講習会革命－利用者を魅了する指導サービスの7つの極意－」(仮題)紀伊國屋書店本社会議室
- ・2008.11.xx-国際子ども図書館-説明聴取会「図書館グッズをどう作るか」(仮題)国際子ども図書館

以上 ■□■ (配付資料/2008.9.18 作成)